

フェニーチェ堺

アートマネジメントセミナー Vol.2



音を操作画面上で3次元的に配列し制御する。
ホール（空間）内に音像が定位・移動する音響
演出を実演し、これまでにない臨場感とリアルな
音の創出を体感する。

街の雑踏、動物の鳴き声、乗り物の音などを、
ホール（空間）に点在させたスピーカーより音の方向性を
操作することで、動きのある音・目に見える音・形のある
音空間を作り上げる。

音を

創造

再現

する

第一部

音像制御システム

「AFC Image」の実演及び技術紹介

第二部

音場支援システム

「AFC Enhance」の実演及び技術紹介

「AFC Enhance」を使用することで、響きの少ない空間で
演奏をする際、用途に適した響きを付加し、音の広がりや
余韻を補うことができる。その違いをオーケストラの
生演奏で体感する。

大ホールと大スタジオを

光回線（TWINLANeネットワーク）で繋ぎ、
大スタジオで大ホールの音響空間を
再現する。



舞台技術セミナー

2022.09.07(水) OPEN 12:30
13:00 START

フェニーチェ堺 大ホール

主催：フェニーチェ堺（公益財団法人堺市文化振興財団）

共催：さかいステージサービス

演奏：芦屋フィルハーモニー管弦楽団

技術協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン ヤマハサウンドシステム株式会社

協力：公共劇場舞台技術者連絡会 関西舞台テレビテクノ&アート協同組合

アートマネジメントセミナー

vol.2

「コロナがもたらした劇場の変化」

2022年9月8日(木) 13:30 ※受付開始 13:00 ※約3時間 フェニーチェ堺 小ホール

第一部

基調講演

「Withコロナ時代の劇場課題と今後の運営」

コロナ禍における「公共ホールに求められる役割の変化」を上げながら、地域の文化振興における取り組みにも反映させる点などを取り上げます。また、国(文化庁)が示す最新の方向性なども併せて紹介します。



講師 草加 叔也

【岡山芸術創造劇場 劇場長】

第二部

シンポジウム

「Withコロナ・ポストコロナを見据えた文化芸術の振興」

時代の変化にともない我々を取り巻く環境も加速的に進展しています。

デジタル化、グローバル化、チケットレスに加え、SDGsに代表される2030アジェンダにおいては持続可能な社会の実現には文化が貢献することが明記される中、これらの視点を重視しながら各ホールの事業などの現状の取り組みとこれからの対応策について、新たに建て替えとなる施設の情報を含みながらお聞きいただきます。

パネリスト

落合 佳人

【茨木クリエイティブセンター 事業統括】

八木 啓一

【高槻現代劇場 事務局長】

柴坂 哲也

【フェニーチェ堺 企画制作担当課長】

ファシリテーター

草加 叔也

【岡山芸術創造劇場 劇場長】

(敬称略)

【7日・8日共通】

対象となる方

- 文化施設職員
- 芸術大学等の関係者・学生
- 舞台技術者、舞台制作者
- 音響に興味・関心のある一般の方

申込期間

7月20日(水)ー8月31日(水)

参加をご希望の方はフェニーチェ堺ホームページ
[<https://www.fenice-sacay.jp/event/2022seminar/>] から
お申し込みください。

フェニーチェ堺 検索

参加費

無料(要事前申込)



フェニーチェ堺ホームページ

主催・お問い合わせ

フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)

072-223-1000 (9:00~20:00)

[休館日 第1・3月曜(祝日の場合は開館)]

〒590-0061 大阪府堺市堺区翁橋町2-1-1

南海高野線 なんば～堺東 約10分

堺東駅から徒歩8分

※やむを得ない事情により内容が変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じた「感染拡大防止対策」を実施しております。



FENICE SACAY